令和８年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策　【松江市立 義務教育学校玉湯学園後期課程】

(1)学力調査結果から見られた傾向

教科		分析(成果○，課題●)	改善策(・)
国語	成果	○相手に気持ちがより伝わるように工夫して書くことができる。 ○漢字や言語の基礎知識が定着している。	・複数の文章や資料から必要な情報を読み取り、文章にまとめる単元の学習に力を入れる。 ・授業の振り返りなどを通して自分の考えを説明する活動を継続して行う。
	課題	●複数の文章や資料から必要な情報を読み取り、文章にまとめる力に課題がある。 ●自分の考えを説明するための語彙力に課題がある。	
数学	成果	○基礎的・基本的な知識が定着している。 ○正答数0問の生徒がおらず、全般的に一定レベル以上の得点力を備えた層が形成されている。	・「穴埋め形式の記述」「根拠となるキーワードの選定」など段階的なステップを導入する。 ・ペアワークやグループワークを取り入れ、根拠に基づいて説明する活動を強化する。 ・ICT端末を活用し、動的に確認したり、図形を操作しながら整理したりする指導を強化する。
	課題	●自分の考えを文章や数式で表現することへの心理的・技術的ハードルの高さが見受けられる。 ●「図形」「関数」領域に対して課題が残る。	
英語（成果または課題で話すことについて触れること）	成果	○必要な情報を聞き取ることができる。 ○日常的な学校生活の説明を書くなど、身近な出来事についての描写をする力が付いている。 ○授業で扱った話すことの内容について定着が見られた。	・まとまった文章を聞いたり読んだりする際にメモや表でまとめる活動を継続的に行う。 ・自分の意見と理由を伝えるライティング活動を継続的に行い、構造的なフレームを活用する。
	課題	●まとまった文章を聞いたり読んだりした後、概要や要点をとらえることに課題がある。 ●自由度の高い記述問題への取り組みに課題が見られる。	

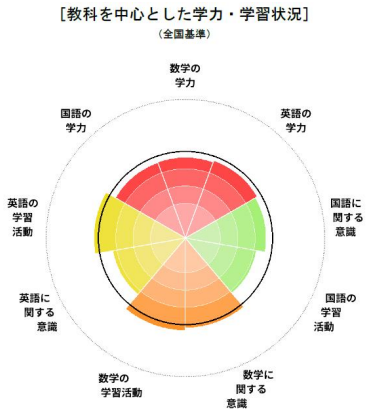
(2)質問紙調査から見られた傾向

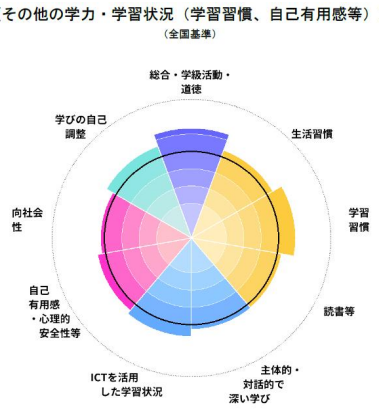
		分析(成果○：強み/伸ばしたい点，課題●：弱み)	改善策(・)
質問紙	成果	○他者と協働し、人の役に立ちたいという思いを持つ生徒が多い。 ○自己肯定感が高い生徒が多い。 ○ICTの活用能力が高い。	・学校図書館の活用（児童生徒会活動とのリンク） ・キャリア教育の充実
	課題	●読書時間、学習時間が短い生徒がいる。 ●将来への夢や目標への展望が持てていない生徒がいる。	

(3)その他、今後校内研究等学校全体で特に力を入れて取り組むこと

学校全体	・複数の情報を比較・整理すること。 ・論理的な根拠を明らかにして、自分の考えを説明すること。 ・学校図書館の活用について検討する。

(4)学力・学習状況調査結果チャート（破線は全国平均）





【受検者数】

60 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より（学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。）

